

5年 単元名「小浜の海に学ぶ」(7時間)

1 単元設定の理由

自分たちの住む故郷小浜は昔から「海」とは切っても切り離せない関係にある。しかし、大人も含め、そんなことを十分知らない人が増えてきているを感じる。本学年の子どもたちが、「小浜のことを知らない人に『小浜ってどんなところ?』と聞かれた時、自信を持って溢れんばかりに小浜の素晴らしさを語れる人になってほしい」「自分の住んでいる小浜はこんな素晴らしいところなのだ」と実感できる人になってほしい」そんな願いをこめてこの単元を設定した。

2 単元目標

故郷小浜の海の素晴らしさを体感し、小浜を愛する心を育てる。
故郷小浜の海の未来を思い描き、小浜の街づくりに寄与する意欲を高める。

3 単元の評価基準

修学旅行時に、海とつながりの深い小浜の素晴らしさを自分の言葉で伝えることができる。
総合的な学習の時間のまとめ時に、小浜の海の課題を踏まえた上で、小浜の街づくりについて意欲的に考えることができる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	・磯観察 ・ビーチコーミング ・漁船搭乗体験 ・タコ漁体験 ・タコの串焼き体験 ・わかめしゃぶしゃぶ体験 (小浜市矢代海岸)	・地区の観光協会、市農林水産課、一般社団法人の方と安全で充実した体験になるよう入念な打ち合わせをしておく。
2	・シーカヤック体験(小浜市阿納海岸) ～川下り体験につなげる漕艇技術の習得～	・プロの方の協力のもと、安全、かつ漕艇技術が習得できるようなプログラムにする。 ・小浜の海の美しさを体感できるようなコース選定をする。
3	・カッター体験 (小浜市田島海岸：国立若狭湾青少年自然の家)	・施設の方との打ち合わせの中でクラスで協力して艇を進ませる体験とともに、海の美しさを体感できるようなコース選定をする。
4	・雲龍丸乗船体験 (小浜漁港：小浜市川崎町)	・市役所に飾られている絵画から小浜が室町時代日本で初めて象が来た街であることを学習し、乗船の目的と意欲を持たせる。

5	<ul style="list-style-type: none"> ・シーカヤックを使っでの川下り体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロの方と事前にコースを下見し、安全面の配慮を図る。 ・シーカヤックの運送計画について十分に打ち合わせをしておく。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習してきたことを振り返り、感じたことを伝わりやすい言葉でまとめさせる。 ・聴いている人の心に届けるにはどのような伝え方をしなければいけないかを考えさせる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・海産物加工会社訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をする事の素晴らしさと難しさを学習するとともに、小浜の海の素晴らしさはもちろん、その現状と課題についても触れてもらえるよう会社と打ち合わせをしておく。
<p>外部連携 / 教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小浜市役所農林水産課 ・小浜市矢代観光協会 ・小浜市阿納パドラーズクラブ ・国立若狭湾青少年自然の家 ・小浜貨物自動車株式会社 ・グランストリーム（代表 大瀬志郎氏） ・小浜海産物株式会社 		